

「世界のいじめられっ子、日本」の今を知る
講演会のお知らせ

3月3日(土) 午後6:00~9:00
文京シビックセンター26階スカイホール

第1部 / 6:00~7:30

福地 惇氏

大正大学文学部教授

「新しい歴史教科書をつくる会」副会長

太平洋戦争史観について

日本はなぜいつまでも「普通の国」になれないのか? 足枷となっている歴史観とは何か?
日本近現代史の重鎮が、失われた戦後60年の日本について哀惜の情とともに語ります。

第2部 / 7:30~9:00

水島 総氏

日本文化チャンネル桜代表

「南の島に雪が降る」の映画監督・脚本家

**なぜ映画「南京の真実^{仮題}」
を作るのか?**

今年は「南京陥落70周年」にあたり、中国、カナダ、アメリカで7本もの南京「虐殺」映画が製作、公開されます。このような歴史捏造プロパガンダ映画が世界中で公開され、南京大虐殺なる歴史の大嘘が「真実」として認識されるならば、日本民族はナチスと同様、世界中の非難的となります。この結果、日本人は未来永劫「人類の敵」として扱われるでしょう。どうしたら、私たち日本民族に降りかかった冤罪を晴らすことができるのか、子供や孫たちの将来のためにも、南京の真実はどうだったのか、映像には映像で世界に向けて反論するために水島氏は立ち上がりました。

講演・展示両会場にて、映画製作に協力する賛助金をお願いしています。
ご協力ください

講演会昼の部(2:30~5:00) 於: 文京シビックセンター26階スカイホール

第1部: 西村幸祐氏(ジャーナリスト)「反日マスコミとメディアリテラシー」

第2部: 栗原宏文氏(メディアリテラシー研究会代表・元愛媛大学教授)

「メディアリテラシーで歴史洗脳を解く」

パネル展「この60年で失ったもの」を3月1日~4日迄、文京シビックセンター
1階展示室1-Aにて開催しています。是非、ご覧ください。

この60年で失ったもの

大東亞戦争に次ぐ第二の敗戦とは何か

安倍総理は「美しい国、日本」を目指し、『国家の品格』がベストセラーになっています。目には見えない何かが、この国から失われているのです。

では、いったい何が失われ、なぜ失うに至ったのでしょうか。このパネル展では、そのことを考えてみました。

パネル展

入場無料

日時／平成19年3月1日(木曜)～4日(日曜)
午前10時(初日は12時から)
～午後7時(最終日は5時まで)

会場／文京シビックセンター1階・展示室1-A
交通／東京メトロ丸の内線・南北線「後楽園駅」、
都営大江戸線・三田線「春日駅」から徒歩1分

講演会

入場無料

〔第1部〕 西村幸祐氏(ジャーナリスト)
「反日マスコミとメディアリテラシー」
〔第2部〕 栗原宏文氏
(メディアリテラシー研究会代表・元愛媛大学教授)
「メディアリテラシーで歴史洗脳を解く」

日時／平成19年3月3日(土曜)
午後2時30分～5時

会場／文京シビックセンター26階スカイホール

※「メディアリテラシー」とはメディアの情報操作に負担しない能力のことです。



(展示パネルより)